

推進プランの骨格

十勝の優位性

自然・環境

- 約26万haの耕地面積
- 年2,000時間を超える日照時間
- 豊富な水資源

農林漁業

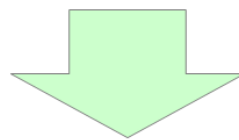
- EU農業圏水準の1戸あたり平均耕地面積
- 生産性の高い土地利用型産業
- 圧倒的なカロリー自給率1,132%
- 総面積の約64%を占める森林面積
- 平成29年漁獲高は約58億円

食・農林漁業関連産業

- 製造出荷額に占める食料品製造の割合は68.4%
- 観光入込客数の北海道内シェアは横ばい
- 道東自動車道やダブルトラック化などの活用
- 農業とともに成長分野として期待されている環境・健康・福祉・医療等の分野の振興

試験研究機関等

- 大学や公設試験研究機関、民間研究機関、企業などの集積
- 中核的産業支援機構による地域産業振興の支援
- 研究開発や、多様な主体の連携・協働による取組



展開方策

十勝型
フードシステム

農林漁業を成長産業にする

食の価値を創出する

十勝の魅力を売り込む

連携・協力

関係自治体

企業などの
プレイヤー

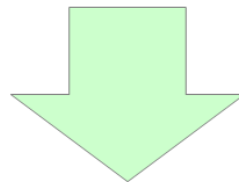
試験研究機関

農林漁業団体
商工団体

施策の
検討

フードバレーとかち
推進協議会

(公財)とかち財団
など



経済成長戦略「フードバレーとかち」
～アジアの食と農林漁業の集積拠点～